

現地通貨建て新興国国債に中長期的な投資妙味

新興国国債オープン(毎月決算型)／愛称 アトラス(毎月決算型)
追加型投信／海外／債券

2017年8月30日

【当レポートのポイント】

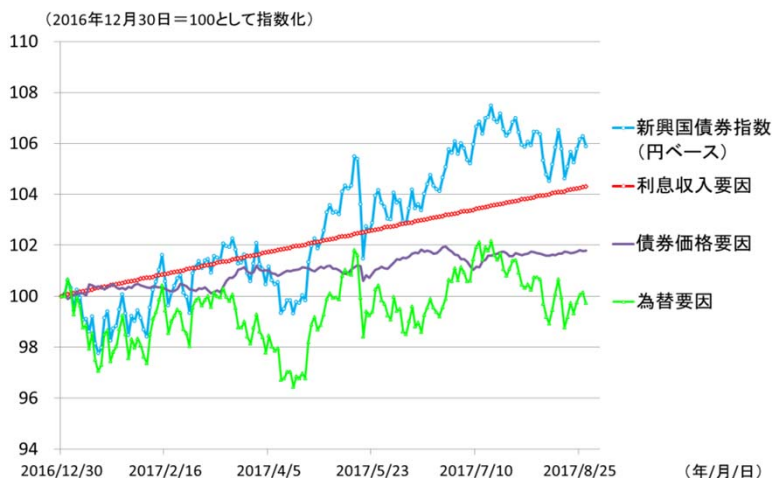
- 現地通貨建て新興国債券指数(円ベース)は、利息収入の着実な積み上がり等を背景に、年初来のリターンが+5.9%(8月29日現在)となり、総じて好調なパフォーマンスが続いています。
- 同指数の要因分解を長期的に見ると、安定した利息収入の獲得がリターンの主な源泉となっています。また、為替要因が悪化する局面(＝円高局面)での投資は、その後の為替要因が改善する局面(＝円安局面)において、リターンの急回復につながる可能性があります。
- 為替市場では、地政学リスクや米国の政治不安等を背景に、短期的に不安定な相場展開が想定されます。一方、新興国国債からの安定した利息収入を勘案すると、新興国通貨に対し円高が進行する場面は、中長期的な観点から投資の好機と考えています。

I. 現地通貨建て新興国債券指数(円ベース)のリターンは、年初来で+5.9%

現地通貨建ての新興国国債への投資を考える場合、その利回り水準の高さが魅力の一つです。代表的な債券指数である「JPMorgan GBI-EM ブロード・ディバーシファイド指数」で見ると、指数構成国の加重平均利回りは6.08%(8月29日現在)と、主要先進国の国債利回りを大幅に上回っています。また、同指数の円ベースのリターンは、年初来で+5.9%となっています(8月29日現在、図表1)。

リターンを要因分解すると、利息収入要因+4.3%、債券価格要因+1.8%、為替要因-0.3%となっており、利息収入の寄与が大きいことがわかります。また、ブラジルなど多くの指数構成国において利下げが実施されたことも、投資国の債券利回り低下(＝債券価格の上昇)につながり、リターンの押し上げ要因となっています。一方、為替市場においては、ドルに対しては円高基調が鮮明となっていますが、新興国通貨全般に対しては円が一進一退の動きを続けているほか、個別通貨で見ても対円での動きはまちまちであり、結果的に通貨毎のプラスとマイナスが概ね相殺される状況となっています。

図表1 現地通貨建て新興国債券指数(円ベース)とリターンの要因分解①
(2016年12月30日～2017年8月29日)



※現地通貨建て新興国債券指数:「JPMorgan GBI-EM ブロード・ディバーシファイド指数」
※リターンの要因分解:上記指数のデータを基に、各要因を算出
(出所)Bloomberg データより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

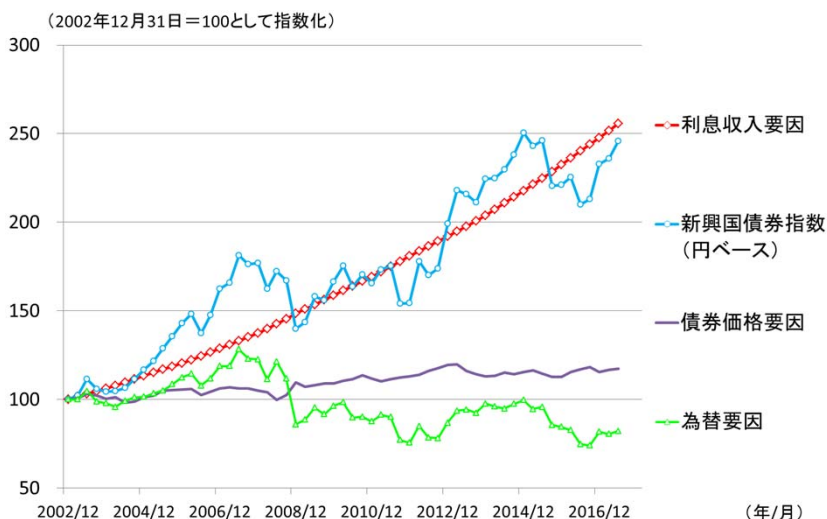
■本資料は、「新興国国債オープン(毎月決算型)／愛称 アトラス(毎月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**新興国国債オープン(毎月決算型)／愛称 アトラス(毎月決算型)
追加型投信／海外／債券**

Ⅱ. 長期的にも、安定した利息収入がリターンの主な源泉

「JPMorgan GBI-EM ブロード・ディバースファイド指数」のデータが取得できる2003年以降のリターンの要因分解を見ると、安定した利息収入の獲得がリターンの主な源泉となっていることがわかります(図表2)。一方、為替要因は変動が大きいため、特定の期間で見た場合、同要因が指数のリターンを左右する最も重要な要因となっています。しかし、より長い期間で見ると、為替要因がマイナスであっても、利息収入が徐々に積み上がることで、リターンが回復傾向を示しています。また、為替要因が悪化する局面(＝円高局面)での投資は、その後の為替要因が改善する局面(＝円安局面)において、リターンの急回復につながる可能性があります。

**図表2 現地通貨建て新興国債券指数(円ベース)とリターンの要因分解②
(2002年12月31日～2017年6月30日、各四半期末)**



※現地通貨建て新興国債券指数:「JPMorgan GBI-EM ブロード・ディバースファイド指数」
※リターンの要因分解:上記指数のデータを基に、各要因を算出
(出所) Bloomberg データより岡三アセットマネジメント作成

Ⅲ. 新興国通貨に対し円高が進行する場面は、中長期的な観点から投資の好機に

足元の為替市場では、地政学リスクや米国の政治不安等への警戒感が強く、短期的に不安定な相場展開が想定されます。一方、新興国国債からの安定した利息収入を勘案すると、新興国通貨に対し円高が進行する場面は、中長期的な観点から投資の好機と考えています。

以上

(作成: 債券運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「新興国国債オープン(毎月決算型)／愛称 アトラス(毎月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



新興国国債オープン(毎月決算型)／愛称 アトラス(毎月決算型)
追加型投信／海外／債券

新興国国債オープン(毎月決算型)／愛称 アトラス(毎月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、新興国の国債等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「金利変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.78%（税抜3.5%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.2%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.404%（税抜1.30%）
その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
岩井コスモ証券株式会社	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡安証券株式会社	近畿財務局長(金商)第8号	○			
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
内藤証券株式会社	近畿財務局長(金商)第24号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
ニュース証券株式会社	関東財務局長(金商)第138号	○	○		
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
明和證券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
山和証券株式会社	関東財務局長(金商)第190号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
相生証券株式会社	近畿財務局長(金商)第1号	○			
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			
(登録金融機関)					
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社島根銀行	中国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社福邦銀行	北陸財務局長(登金)第8号	○			

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

<本資料に関するお問い合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)